

# 施政及び予算編成方針への質疑

町長の施政方針・予算編成に対し、5名の議員が質疑を行いました。その概要を質問者がまとめ、報告します。

## 資源ごみ持ち去りにストップを！

…平成17年度中に防止策を講じる

鳥井文典議員

### 資源ごみ持ち去り防止策を

- 問** 町内各地のごみ集積所で古紙等再生資源ごみの持ち去りが多発している。集積所に出された資源ごみの所有権を町の財産とする条例を制定して持ち去り防止策を。
- 答** 平成17年度には条例を制定して防止策を講じたい。
- 問** 実効性を高めるため罰則規定を設けることが必要では。
- 答** 罰則規定は十分検討する。



家庭から出された資源ごみ

った現在、隣接市との広域行政が今後重要になるが、どのように展開されるのか。

- 問** 集積所に「持ち去り禁止」を促すプレート等の表示を。
- 答** 条例制定に合わせ表示したい。
- 問** 隣接市との広域行政は
- 答** 合併問題が白紙に戻

**答** 大変重要と認識している。上尾市とは「推進協議会」を中心として展開する。平成17年度に仮称「上尾・桶川・伊奈広域ごみ処理検討会」を立ち上げ、2市1町でごみ処理場の検討に入りたい。蓮田市とは図書館の相互利用や綾瀬川にかかる橋の架け替えと維持管理について協定を結んでいる。アクセス道路も協議したい。

## 「今後も合併問題を視野に入れながら…」 と言われるが、合併の基本的考え方は

…合併は避けて通れない重要な懸案、改めて時間をかけて考え、検討したい

永末厚二議員

### 施政方針で言う、 合併問題の基本的 考え方は

- 答** 平成17年4月以降、合併新法により知事が合併協議会設置や推進勧告により推進することができるとなった。
- 町としては、合併は避けて通れない重要な懸案として、改めて時間をかけて考え、検討したい。

### 合併の具体的枠組 みやタイムテーブルは持っているのか

**答** 一般論として「今後も合併問題を視野に入れながら、広域行政の展開を通じて、まちづくりを進めたい」と言っているもので、新たな枠組み、タイムスケジュールは今のところ白紙の状態である。

時期が来たら議員・町民の意向・意見を聞きたい。



(町勢要覧より)



バリアフリー化が望まれるニューシャトル駅

**ニューシャトル駅のバリアフリー化は  
全駅に波及すべきだ**

…内宿駅から順次行っていく

むらやまさひろ  
**村山正弘議員**

**税金について**

**問** 滞納繰越金の徴税強化施策を考えているか。

**答** 4月より収税課を設置して、徴収率の向上や滞納整理を推進していく。

**制度等の見直しについて**

**問** 内宿駅のバリアフリー化基本調査に入るが、その後羽貫、中央、志久、丸山駅にも波及すべきだ。

**答** 内宿駅から順次行っていく。また、高齢者、幼児、障害者などへの幅広い対象を調査研究したい。

**問** 昇降階段の段確認表示など、小さな配慮もすべきだ。

**答** 総合的に検討していく。

**ニューシャトル  
内宿駅のバリアフリー化の取り組みについて**

**問** 手数料や補助金の見直しは町民が対象となる他に、一般会計99億円のうち9・8億円となり構成比は10%となる委託費も、見直しの重点とすべきだ。

**答** 委託費の見直しは重要と認識している。職員に置き換えられるものなどを検討し、削減に努める。

**町長「選挙公約」の取り組みは！**

…実現に向けて全力で努めている

ひらたよしお  
**平田義雄議員**

**問** 町長の選挙公約実現への取り組みについて、質問する。

**答** 就任以来一年を通して公約の「安心・安全」をスローガンに全力で公約実現に努めてきた。私の給与の20%カット、交際費、行動日程の公開、通学路の総点検の実施等とシャトルの増発、運賃減額交渉、交番の新設要望等に取り組み一定の成果を上げてきた。

特にシャトル増発では町民の利便性を求めたダイヤ改正が4月より行われる。

**問** 17年度予算編成の重点項目を伺う。

**答** 厳しい財政状況を考



完成した志久駅前公衆トイレ

え、合併問題も視野に入れながら広域行政の展開を通して、(仮称)上尾・桶川・伊奈広域ごみ処理

**問** 検討会設立負担金の計上と防犯対策として、南部地区に防犯拠点の設置、防犯組織の設立をはかる。さらに、道路の新設、改良、交通安全対策事業推進で安全の町づくりに向けての予算を重点計上する。

**答** 町民は町長公約実現の取り組みに期待している。今後も安心・安全の町づくり鋭意努力していく。

**敬老年金、祝い金の廃止、小中学生の  
交通共済助成廃止は問題 復活せよ**

… 財政不足のため困難、ご理解を

かねこりさく

**金子利作 議員**

**問** 日本経済の動向は、大企業が空前の利益で笑う一方で働く国民の家計収入は、6年連続で低下

している。05年度の国家予算は国民に老年者控除の廃止や、定率減税の縮小廃止など負担増が強行



南小学校下校風景

されている。景気回復の見通しは。

**答** 大企業は大幅な利益を回復しているが、中小零細企業は依然として困難な経営状況であり問題だ。早期の景気回復を願っている。

**問** 町長は、合併について避けては通れないの考えだが現状は合併は困難、自立の政策を提起すべきだ。

**答** 合併問題に対する町の考えは、地方分権への対応から、合併は避けられない。地方自治は住民が基本、住民の理解の下にすすみたい。

**問** 05年度の町の予算は、町民福祉の後退と負担の増大だ。敬老年金、祝い金の廃止や、小中学生への交通災害共済に対する助成の廃止は問題だ。復活させる考えは。

**答** 05年度の予算編成は、財源不足で困難であった。財源確保のため事業の見直しを行った結果であり、ご理解を。

**埼玉県町村議会  
議長会から表彰**

3月1日、埼玉県自治会館で開催された埼玉県町村議会議長会定期総会の席上において、自治功労者の表彰が行われ、鈴木明議長が議員として15年以上在職し、地方自治の進展に多大の功績が認められたため、表彰されたものです。また、鳥井文典議員には議長会役員退職にあたり、感謝状が贈呈されました。



鳥井文典議員



鈴木 明議長



議会だより編集委員会作業風景